

## 2018年11月 ITU-R WP 1B 会合報告書

- 【会合名称】 ITU-R WP 1B 会合  
(周波数管理手法に関する作業部会)
- 【会 期】 2018年11月16日(金)～11月20日(火)
- 【開催場所】 スイス ジュネーブ ITU 本部
- 【概 要】

本会合は、今次研究期間における第6回会合である。本会合には、27の加盟国行政機関、3の認定された運営機関、3の科学または産業組織、2の地域およびその他の国際機関、1の学界・大学と関連施設、およびITUなどから合計78の参加者が出席した。日本からは羽多野氏、中村氏(総務省)、小林氏(周波数管理・作業計画委員会主査)、久保田氏(テレコムエンジニアリングセンター)、庄木氏(東芝)、丸田氏(NTTデータ経営研究所)、三木氏(トヨタ自動車)、片山氏(ワシントンコア)の合計8名が参加した。

英国、中国、日本、欧州諸国、ブラジル、韓国等からこの会議に提出された39の寄書が検討され、11の出力文書が作成された。

前回の会合と同様に、SRD (Short Range Device) 関連の議題を扱うWG 1B-1とその他事項を扱うWG 1B-2の2つのWorking Group (WG) が設置された。会合の構成は表-1のとおりである。

また、表-2に入力文書一覧を、表-3に出力文書一覧を示す。

表-1 WP 1B 会合の構成と各グループの担当議題

Working Party 1B 議長代理 (Acting Chairman) : Mr. Leo Kibet Boruett (ケニア)
Working Group 1B-1 議長 : Mr. F. M. Yurdal (Robert Bosch (ドイツ)) 担当 : ショートレンジデバイス及びその関連事項 (WRC-19 Agenda Item, Issue 9.1.6, 9.1.8 を含む)
Working Group 1B-2 議長 : Mr. Liu Bin (中国) 担当 : その他の事項

なお、会合初日に開催されたプレナリー審議では、冒頭 Study Group (SG) 1 議長が会議の進行を務め、本 WP 議長であった Ruoting Chang 氏 (中国) が異動のため ITU 職員となったことから、今回会合より議長を務めることができなくなったことが報告された。このため、WP 1B 副議長兼 WG1B-2 議長であった Leo Kibet Boruett 氏が議長代理を務めることが諮られ、特段の異論はなく合意された。尚、同氏の議長就任については2019年に開催される次回 SG1 において正式に承認される。また空席となった WP 1B 副議長及び WG1B-2 議長については、中国より Liu Bin 氏が推薦され、今会合において同氏が務めることが確認された。

# 1 Working Group 1B-1 : WRC Issue 9.1.6, 9.1.8 及びショートレンジデバイスと関連事項 (議長: Mr. F. M. Yurdal (Robert Bosch (D)))

## 1.1 ショートレンジデバイス

---

入力文書 : 1B/317r1 (ETSI ERM TG 17), 329 (ブラジル), 330 (WP 5C)

出力文書 : 1B/TEMP/130

### (1) 主要結果

- ブラジルと ETSI からの入力を ITU-R 報告 SM.2153-6 (SRD の技術/運用パラメータと周波数利用) の改訂草案に反映することで合意。
- WP5C からのリエゾン文書を受け、ITU-R 勧告 SM.1896 (SRD 向け周波数のグローバル・地域ハーモナイゼーション) の改定作業において、UWB エミッションからの固定業務の保護に関する追加の研究を行わないことで合意。

### (2) 審議概要

ショートレンジデバイス関連では、3 件の入力文書が審議された。ブラジルからの寄書 (1B/329) は、ITU-R 報告 SM.2153-6 (SRD の技術/運用パラメータと周波数利用) にブラジルの事例を追加するもので、特に異論はなく改訂草案に反映された。また、ETSI からのリエゾン文書 (1B/317r1) は、ITU-R 報告 SM.2153-6 に補聴器に対応する公衆アクセスシステムの仕様等を含める際の参考となる文書のリンクを提供するもので、同改訂草案に反映することで合意した。以上の新たな改訂を反映した出力文書 (1B/TEMP/130) が策定され、議長報告に添付してキャリアフォワードすることで合意した。

ITU-R 勧告 SM.1896 (SRD 向け周波数のグローバル・地域ハーモナイゼーション) に関連して WP5C から送付されたリエゾン文書 (1B/330) は、UWB エミッションからの固定業務の保護に関するリエゾンバックであり、WP5C は、SRD からの固定業務に対する既存の保護手法 (SRD は保護を受けず、干渉を起こさないことが前提) で十分であり、新たな SRD システムについても踏襲されるはずであるため、追加で研究を行う必要は無いとの見解を示したものであった。これを受けて、UWB エミッションからの固定業務の保護に関する追加の研究は行わないことで合意した。

## 1.2 ワイヤレス電力伝送(WPT)

---

入力文書: 1B/303(Chairman, WP 1B) Annexes1, 2, 3, 4 & 5, 261(KOR), 267(G), 280(IARU), 282(J), 286(D), 287(EBU), 304(WP 1A), 305(WP 1A), 306(WP 3L), 307(WP 1A), 311(BR Dir./WPC), 313(WP 7A), 314(WP 7A), 315(NABA), 318(TUR), 321(WP 6A), 322(IEC TC106), 323(IARU), 324(KOR), 325(KOR), 326(J), 327(CHN), 328(UK), 331(EBU), 332(EBU), 333(EBU), 334(EBU), 335(EBU), 336(WP 5A), 337(SG1 Rap. CISPR), 339(WP 5B)

出力文書: 1B/TEMP/131, 133, 134, 135, 136, 137

### (1) 主要結果

- 入力文書を吟味し、Issue 9.1.6 に直接関係しない文書は今回の審議対象から外された。
- 本会合にて、新報告草案 ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM]の作業を進捗させるため、WPT-EV に関する SWG(サブワーキンググループ)設置が議長より提案されたが、議長の立候補がなく、設置が見送られた。
- 新報告草案 ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM]に向けた作業文書の構成が大幅に見直され、WPT-EV のインパクトスタディを扱う新報告草案 ITU-R SM.[WPT-EV-IMPACT]に向けた作業文書と、規則関連事項を扱う新報告草案 ITU-R SM.[WPT-REGULATION]に向けた作業文書の Elements の 2 つの文書に分割された。双方とも WP 1B 議長報告に添付され、次回会合に引き継がれることとなった。

- 新報告草案 ITU-R SM.[WPT-EV-IMPACT]に向けた作業文書は、章ごとに DG(ドラフティンググループ)を設け、または作業者を割り当てて入力文書に基づく議論と編集が行われた。最終的に草案に向けた作業文書としてマージされ、次回会合で完成を目指す事が確認された。
- 新報告草案 ITU-R SM.[WPT-REGULATION]に向けた作業文書の Elements は、新報告草案 ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM]に向けた作業文書並びに日本、EBU の寄書の規則関連事項の記述を単に列記するだけの作業にとどまり、今回会合では内容の議論が行われなかった。
- WPT-EV に関する 3 件のリエゾン文書が作成された。
- 決議 958(WRC-15)の WPT に関する研究課題のうちインパクトスタディについて、2019 年 5~6 月の次回 WP 1B 会合で関連する報告案を完成させるワークプランが維持された。

## (2) 審議概要

### 1.2.1 WPTの検討体制

- 本会合にて、新報告草案 ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM]に向けた作業文書の作業を進捗させるため、議長の提案により WPT-EV に関する SWG を設置することが合意された。
- しかし、SWG の議長を募ったところ、立候補者が現れなかったため、SWG は設置せず WG-Plenary で審議することとなった。
- 新報告草案 ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM] に向けた作業文書に関して、ドイツ、EBU、英国から文章の全体構成について再度整理を行う必要性がコメントされ、ドイツの提案により、規則関連事項を削除して CPM レポートのテキスト案に沿った構成とし、WPT-EV のインパクトスタディのみを扱う新報告草案 ITU-R SM.[WPT-EV-IMPACT]に向けた作業文書として作成することとなった。また、削除される規則関連事項については、日本及び EBU の寄書の関連部分を追記して、別の新報告草案 ITU-R SM.[WPT-REGULATION]として取りまとめることとなった。
- 新報告草案 ITU-R SM.[WPT-EV-IMPACT]に向けた作業文書に関して、ドイツの寄書(286)に基づき、章構成を以下の通りとした。
  1. Introduction
  2. Technical characteristics and protection requirements of radio services
  3. System characteristics of WPT-EV applications
  4. Summary of the studies on the impact of WPT-EV on radiocommunication services
  5. Harmonization and mitigation measures to minimize the impact of WPT on the radiocommunication services
  6. Conclusions
- 新報告草案 ITU-R SM.[WPT-EV-IMPACT]に向けた作業文書に関して、以下の通り、章ごとに DG、作業者を割り当てて編集作業を行った。
  - DG1(韓国が議長) : 3 章
  - DG2(ドイツが議長) : 4 章、6 章
  - 英国(オフライン作業) : 2 章
  - EBU(オフライン作業) : 5 章
 ※1 章に関しては、既存のパートを流用するため、特に作業者を設けなかった。
- 新報告草案 ITU-R SM.[WPT-REGULATION]に関する検討体制については、今回会合での内容の議論を予定しなかったため、WG 1B1 議長は編集作業者を指名しなかった。しかし、日本と EBU で相談し、オフラインで日本が文書案の作成を行った。

### 1.2.2 報告ITU-R SM.[WPT-EV-IMPACT]

- DG1 の審議状況について
  - 韓国にてオフラインで作成した 3 章のドラフトを基に編集作業が進められた。
  - 3 章の Table3-1 や Table3-2 の修正作業が実施された。特に Table3-1 に関しては、各国の状況や認識が異なるため、内容が合意されるまでに時間を要した(Nominal frequency の記載の

有無など)。一部スクエア・ブラケットが残っている状態ではあるが、以下の通りとなった。

TABLE 3-1  
Radio characteristics of [typical/available] WPT-EV in impact studies

Frequency band (kHz)	Center frequency (kHz)	Emission mask	Frequency stability (Hz)	Power level (kW)	[Maximum] emission level of the fundamental at 10 m (dBuA/m)	[Maximum] emission level of the third harmonic at 10 m (dBuA/m)	[Maximum] Unwanted emission levels	Usage
19-25 / 55-65	[19-25]	[TBD]	[200]	22-120	47	4.35	Annex 2	Heavy duty
79-90	[79-90]	[TBD]	[200]	1-22	Annex 2	Annex 2		Light duty

- 中国がオフラインで作成したパート(3.5章)が提供され、レビューの後にマージされた。
  - 英国がオフラインで作成した2つのAnnex(「[Maximum] emission levels of WPT-EV」及び「Proposed emission limits for WPT-EV from Standards Development Organisations」)が提供され、レビューの後にマージされた。
- DG2の審議状況について
- ドイツがオフラインで作成した4章、6章のドラフトを基に編集作業が進められた。
  - 4章はインパクトスタディのサマリーのみを記載して、詳細な情報はAnnexとする基本方針に基づいて編集がされた。また、英国からITUで合意され、各国が検証可能なインパクトスタディに基づくサマリーである必要性がコメントされた。これに対して、日本から、作成しようとしている文書は「報告」であり、収集した情報の編纂であるため、寄書として提出された特定国でのインパクトスタディの情報もサマリーに含めるべきとコメントした。結果として日本のインパクトスタディの情報は維持されたが、各国が検証できるよう日本から詳細情報を次回会合に提出することとなった。
  - 4章の各パートがIARU(アマチュア無線)、EBU(AM放送)、中国(MF放送とLoran-Cシステム)等によりオフラインで作成され、レビューの後にマージされた。
  - EBUによって追加された4.4章において、放送帯域における許容値(Limits)を記載した表が記載されており、日本から、三つの理由(①Limitsは各国政府がWPTの利用環境を考慮し、離隔距離などの要素を加味して制度化するものであり、提案するのは放送事業者からのRequirementであること、②Limitsを設定するのであれば測定方法も記載すべき、③示されているLimitsは測定受信機のノイズレベル以下で測定不可能、このようなレベルのLimitsを記載すべきではない)からLimitsの記載削除を要請した。また、LimitsをRequirementと表現すれば受け入れ可能であることも表明した。しかし、EBUはサービスを保護するために基準を明確にしたいことから、Limitsの記載を維持する事を主張した。WP 1B-1議長(Yurdal氏)より、①本文には結果のみをリストし、詳細な内容はAnnexへ移すこと、②必要な議論は次回会合で行うこと、③語句の妥協案として「Required limits」を提案する旨コメントされた。
  - 英国から79-90kHz帯のWPTからのSFTSへのインパクト(4.3.1.1章)に関して、寄書328にてアップデートを行いたい旨コメントされ、日本から前回会合(6月)のCPMテキストにおいて既に合意されていると主張した。しかし、英国はCPMテキストの内容はインパクトスタディではなかったと主張し、寄書内容の説明がされた。日本から、広い周波数帯をSFTSに占めるのはRRの基本的考え方に反しているとの指摘を行ったが、英国からビジネスアプリケーション等を含めてSFTSが広い帯域で使用されており、経済的な理由で無視出来ない旨が回答された。英国と日本でSFTSへのインパクトスタディに関して認識の違いがある事が明確となり、DG議長から本内容に関して、引き続き議論が必要である旨コメントされた。

- 日本がオフラインで作成して提出した 79-90kHz 帯の WPT に関するインパクトスタディの Annex は、日本における WPT の規則関連の内容や国内事情が含まれており、それらの説明を省く事や、検証方法、詳細な計算結果等を含める事等、インパクトスタディとして更なるアップデートが必要である旨が英国から指摘された。これに対して、日本は前述の 4 章の基本方針の議論と同様の反論を行い、同 Annex は維持されたが、英国から詳細情報を次回会合で示すよう要請された。
- 6 章、TABLE6 に関して、各国からの意見が集中し、パワーレベルの記載の有無やその数値、及び Limits の記載の有無について議論がなされ、以下の通り取りまとめられた。DG 議長より TABLE6 に関して引き続き検討が必要である旨コメントされた。

Table 6/9.1.6-2  
Frequency bands and power levels for WPT-EV

Categories	Power Level	Frequency band	WPT Applications
High Power WPT-EV	More than 22 kW	19-25 kHz	Specific heavy-duty electric vehicles (e.g. Bus, Tram, Truck)
	More than 22 kW	55-5X kHz	Specific heavy-duty electric vehicles (e.g., Bus, Tram, Truck)
	More than 22 kW	6Y-65 kHz	Specific heavy-duty electric vehicles (e.g. Bus, Tram, Truck)
Medium Power WPT-EV	Up to 22 kW	79-90 kHz	Generic light-duty electric vehicles

- EBU より 6 章、第 3 パラグラフの「compatible」の表現を、よりタイトな表現にするべきとの要請がされたが、日本から、該当の部分は CPM レポートのテキスト案からの引用となっており、変更は容認できないと意見し、その要請は受け入れられなかった。ただし、冒頭の「Additionally,」を削除し、「provided that」を「only if」と変更する提案が行われ、CPM レポートのテキスト案とはニュアンスが異なる表現に変更された。

#### ■ その他

- 最終的に、各 DG、作業者のアウトプットが(DG1(3 章)、DG2(4 章、6 章)、英国(2 章)、EBU(5 章))がマージされ、新報告草案 ITU-R SM.[WPT-EV-IMPACT]に向けた作業文書として取りまとめられた。
- この作業文書は、WP 1B 議長報告に添付され、次回会合に引き継がれることとなった。
- 決議 958(WRC-15)の WPT に関する研究課題のうちインパクトスタディについて、2019 年 5~6 月の次回会合において新報告案 ITU-R SM.[WPT-EV-IMPACT]の完成を目指す事が確認され、ワークプランが維持された。

### 1.2.3 報告ITU-R SM.[WPT-REGULATION]

- 新報告草案 ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM]に向けた作業文書に前回会合までに記述され、今回で新報告草案 ITU-R SM.[WPT-EV-IMPACT]に向けた作業文書から削除された規則関連事項については、日本及び EBU の寄書の関連部分が追記され、別の新報告草案 ITU-R SM.[WPT-REGULATION]に向けた作業文書とすることが日本から提案された。内容の議論を行っていないことから、作業文書の Elements とすることが EBU から提案され、そのように合意された。
- その内容については次回会合以降審議することとなった。
- この文書は、WP 1B 議長報告に添付され、次回会合に引き継がれることとなった。

### 1.2.4 他WP及び他機関へのリエゾン文書

- WP 1A から寄せられた新勧告草案 ITU-R SM.[WPT-UNWANTED]に向けた作業文書の Elements に対する情報提供依頼のリエゾンに対して、新報告草案 ITU-R SM.[WPT-EV-IMPACT]に向けた作業文書と新報告草案 ITU-R SM.[WPT-REGULATION]に向けた作業文書の Elements の進捗状況を共有するリエゾン返書が作成された。
- WP 5B に対して、Non-Directional Beacon (NDB)システムへ WPT が与える影響に関するリエゾン返書が作成された。
- WP 3L に対して、9kHz から 10MHz における建造物進入損失に関するリエゾン文書が作成された。

## 2 Working Group 1B-2 : その他の事項 (議長: Mr. Liu BIN (中国))

### 2.1 ITU-R 報告 SM.2012-5 (周波数管理の経済的側面) の改訂 (ITU-D SG1 宛のリエゾン文書を発出)

---

入力文書 : 1B/320 (ITU-D SG 1)

出力文書 : 1B/TEMP/129

#### (1) 主要結果

- ITU-D Study Group 1 宛に、作業中の Question 4/1 の章立てについて尋ねるリエゾン返書を送付することで合意。

#### (2) 審議概要

ITU-D Study Group 1 から送付されたリエゾン文書 (1B/320) には同 SG にて作業中の Q4/1 の目次案と関連する ITU-R および ITU-T のパブリケーションのリストが添付されており、セクター間の作業の重複を防ぎ、必要な情報提供を行うため、Drafting Group LS (議長 : Longming ZHU 氏 (中国)) が設置され、リエゾンバックの内容が検討された。

議論の過程で次の 2 点を伝える必要があることが、カウンセラーより提案された。1) 目次案の 2.4 と 2.6 にある spectrum sharing への言及について、ITU-R の責任範囲である可能性があり、重複を避ける原則からどのような意図でこの項目が含まれているかを確認したい旨、2) ITU-R 勧告 SM.2405 (コグニティブ機能を使った無線システムによる周波数のダイナミックアクセスに関する周波数管理の原則、課題、考慮事項) も関連するパブリケーションであること。以上 2 点を盛り込んだリエゾン文書 (1B/TEMP/129) が承認され、ITU-D Study Group 1 宛に発出された。

### 2.2 ITU-R 報告 SM.2015 (周波数利用に対する国家の長期的戦略の決定方法) の改定案 (入力文書なし、SG1 に上程)

---

入力文書 : なし

出力文書 : 1B/TEMP/128r1

#### (1) 主要結果

- ITU-R 報告 SM.2015 (周波数利用に対する国家の長期的戦略の決定方法) の改定案は、今会合ではエディトリアルな修正のみを行い SG1 に上程された。

#### (2) 審議概要

2018 年 6 月会合の議長報告の添付文書 (1B/303 Annex 6) としてキャリフォワードされた文書について、今回会合では入力文書はなく、議長よりこの内容で改定案として SG1 への上程が提案された。

改めて改定部分の確認が行われ、文中の「for example LSA」の記述に脚注で ITU-R 報告 SM.2405 (Regulatory tools to support enhanced shared use of the spectrum) を追加したうえで、

本文書は SG1 に上程されることで合意した。

## **2.3 WP1Bに割り当てられた勧告、報告、課題の見直し(次回継続審議)**

---

入力文書：なし

出力文書：なし

### (1)主要結果

勧告・報告・課題のリスト（1/1）をレビューしたが、特段のコメントはなかったため、次回改めて継続審議となった。

### (2)審議概要

リストのレビューを行ったが、コメントはなかったため、議長より次回会合までに各国で見直してコメントがあれば入力してほしい旨が伝えられた。

## **3 次回会合の予定**

次回会合は 2019 年 5 月 28 日～6 月 5 日（ジュネーブ）にて開催される予定。

表-2 入力文書一覧

文書番号	提出元	表題	
303	Chairman, WP 1B	Report on the fifth 2015-2019 meeting of Working Party 1B (Geneva, 4-12 June 2018)	WP 1B 会合（2018年6月）の議長報告
304	WP 1A	Liaison statement to Working Party 1B on elements for a working document towards preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[WPT-UNWANTED]	新勧告草案 ITU-R SM.[WPT-UNWANTED]に向けた作業文書のエレメントを提供するリエゾン文書
305	WP 1A	Reply liaison statement to Working Parties 5A, 5B and 6A (copy to Working Party 1B) - Preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT_100-148.5KHZ]	新報告案 ITU-R SM.[WPT_100-148.5KHZ]に関するリエゾン返書
306	WP 3L	Liaison statement to Working Parties 1A, 5A, 5B and 6A (copy to Working Party 1B for information) - Preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT_100-148.5kHz]	新報告案 ITU-R SM.[WPT_100-148.5KHZ]に関するリエゾン返書
307	WP 1A	Liaison statement to Working Parties 5A, 5B, 6A and 7A (copy to Working Party 1B for information) on preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.2110-0 - Frequency ranges for operation of non-beam wireless power transmission systems	ITU-R 勧告 ITU-R SM.2110-0の改定に関するリエゾン文書
308	SCV	Liaison statement on new terms and definitions in ITU-T Study Group 20 work	ITU-T SG20の作業における新たなタームと定義に関するリエゾン文書
309	ITU-T SG11	Liaison statement on ITU Inter-Sector coordination	ITUのセクター間協調に関するリエゾン文書
310	ATDI/オレンジ・ポルスカ	Working Party 1C for action - ITU Intersectoral response to ICNIRP - Public consultation of the draft ICNIRP guidelines on limiting EMF exposure (100 kHz to 300 GHz)	EMF 曝露の制限（100 kHz to 300 GHz）に関する ICNIRP ガイドライン案に関する回答
311	BR 局長	Reply from the Wireless Power Consortium to the June 2018 liaison statement for Working Party 1B on WPT	2018年6月のリエゾン文書に対する Wireless Power Consortium からの返信
312	SG1 議長	Acting Chairman of Working Party 1B	WP1Bの議長代理について
313	WP 7A	Reply liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Party 1A, for information) - Protection criteria for SFTS in relation to WRC-19 agenda item 9.1, issue 9.1.6	WRC-18 議題 9.1（課題 9.1.6）に関連した SFTSの保護基準に関するリエゾン返書
314	WP 7A	Liaison statement to Working Party 1A (copy to Working Parties 1B, 5B, 5C, 6A and 7D for information) - Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.2110-0 - Frequency ranges for operation of non-beam wireless power transmission systems	ITU-R 勧告 SM.2110-0の改定案に関するリエゾン返書
315	NABA	Information on medium frequency broadcast operation and listening in portions of Region 2 for WPT Impact Assessment	WPT インパクト評価用として米国、カナダおよびメキシコ市場における中波放送の運用およびリスニング情報の提供
316	ITU-T SG5	Liaison statement on ITU inter-Sector coordination: ITU-R Working Parties 1A, 1B, and 1C versus ITU-T Questions	ITU セクター間協調について、ITU-T 研究課題に関するリエゾン文書
317 R1	ETSI	Liaison statement on operation of short-range radiocommunication public access system supporting hearing aid systems	SRDに関する ITU-R 報告 SM.2153に補聴器を含める作業の支援として技術運用特性や使用周波数に関するリエゾン文書
318	トルコ	Elements for a working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R [WPT-UNWANTED] - Limits and measures to mitigate disturbances from Wireless Power Transmission systems to radiocommunication systems operating below [30 MHz]	新勧告草案 ITU-R SM. [WPT-UNWANTED]のエレメント
319	ITU-D SG1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 2/1 to ITU-R Study Group 1 and Working Party 1B on further collaboration - Strategies, policies, regulations and methods of migration and adoption of digital broadcasting and the implementation of new services	デジタル放送への移行と採用の手法と新たな業務の導入に関連する ITU-D SG1 Q2/1 とのさらなる協業に関するリエゾン文書
320	ITU-D SG1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 4/1 to ITU-R Study Group 1 and Working Party 1B on revision of Report ITU-R SM.2012-5 - Economic policies and methods of determining the costs of services related to national telecommunication/information and communication technology networks, including next-generation networks	ITU-R 報告 SM.2012-5の改定に関する ITU-D SG1 Q4/1の作業について知らせるリエゾン文書
321	WP 6A	Liaison statement to Working Parties 1A and 1B on protection of sound broadcasting receivers from WPT systems	WPTによるMF AM 音声放送受信機への干渉のインパクト研究の共有および新報告草案 ITU-R SM. [WPT-UNWANTED]のTable 1への変更提案を行うリエゾン文書
322	IEC	Liaison statement to Working Party 1A on WPT activities	WPTに関する1A宛リエゾン文書
323	IARU	Development of a new ITU-R Recommendation on limits of WPT-EV spurious emissions to protect radiocommunication services	新勧告草案 ITU-R SM.[WPT-UNWANTED]への提案
324	韓国	Proposed modification of working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM]	新報告草案 ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM]に向けた作業文書の修正提案
325	韓国	Proposal for an update of working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM]	新報告草案 ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM]に向けた作業文書の修正提案



文書番号	提出元	表題	
326	日本	Proposed revision of working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM. [WPT-SPEC-MNGM]	新報告草案 ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM]に向けた作業文書の修正提案
327	中国	Analysis of WPT-EV products and coexistence test with broadcasting service	WPT-EV 製品の分析と放送業務との共存性試験結果
328	英国	Update to study on the impact of WPT-EV on the 60 KHz standard frequency and time signal service	55-65 kHz で作動する WPT-EV による 60kHz の標準周波数時報(SFTS)へのインパクト評価に関する更新
329	ブラジル	Proposed revisions to "Technical and operating parameters and spectrum use for short-range Radiocommunication devices" (Report ITU-R SM.2153-6)	ITU-R 報告 SM.2153-6 の改定提案
330	WP 5C	Reply liaison statement to Working Party 1B regarding - Revision of Recommendation ITU-R SM.1896	ITU-R 勧告 SM.1896 の改定に関するリエゾン文書
331	EBU	Analysis of the study in Section 7.1.3.3 of Annex 4 to Document 1B/303 - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM] - (Question ITU-R 210-3/1)	新報告草案 ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM]のセクション 7.1.3.3 にある研究の分析
332	EBU	Support to the development of a new ITU-R Recommendation on required limits of WPT emissions to protect radiocommunication services - Limits and measures to mitigate disturbances from Wireless Power Transmission systems to radiocommunication systems operating below [30 MHz]	30 MHz 未満の無線通信保護のための WPT 制限値に関する新たな ITU-R 勧告策定の提案
333	EBU	WPT interference to AM broadcast services: Measurement of building entry loss	WPT による AM 放送業務への干渉：建物侵入損失の計測
334	EBU	Proposed modifications to Section 3 of Annex 4 to Document 1B/303 "Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM]"	新報告草案 ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM]に向けた作業文書の第 3 章の修正提案
335	EBU	Proposed modifications to Annex 4 to Document 1B/303 "Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM]"	新報告草案 ITU-R SM.[WPT-SPEC-MNGM]に向けた作業文書の修正提案
336	WP5A	Liaison statement to Working Parties 1A and 3L (copy to Working Parties 1B, 5B and 6A) - Comments on Report ITU-R SM.[WPT_100-148.5kHz]	新報告草案 ITU-R SM.[WPT_100-148.5kHz] へのコメント
337 R1	SG 1 CISPR ラポーター	Report on current status of WPT issues in CISPR - June to October 2018	2018 年 6 月から 10 月にかけての CISPR での WPT 課題の現状の報告
338	BR SG	List of documents issued (Documents 1B/303 - 1B/337)	発行文書リスト

表-3 出力文書一覧

文書番号	表題	備考 (提出元)
128 R1	[Preliminary] draft revision of Report ITU-R SM.2015 - Methods for determining national long-term strategies for spectrum utilization	ITU-R 報告 SM.2012-5 改定[草案] WG1B-2
129	[Draft] reply liaison statement to ITU-D Study Group 1, Question 4/1 - Economic aspects of spectrum management	ITU-D SG1 の研究課題 4/1 の目次に関するリエゾン文書 WG1B-2
130	Preliminary draft revision to Report ITU-R SM.2153-6 - Technical and operating parameters and spectrum use for short range radiocommunication devices	ITU-R 報告 SM.2153-6 改定草案 WG1B-1
131	Annex X to Working Party 1B Chairman's Report - Work plan for WRC-19 agenda item 9.1, Issue 9.1.6 - Resolution 958 (WRC-15) Annex item 1 (WPT-EV)	WRC-19 議題 9.1 (研究課題 9.1.6) の WPT-EV に関するワークプラン WP1B
132	Working document towards preliminary draft revision to Recommendation ITU-R SM.1896-1 - Frequency ranges for global or regional harmonization of short-range devices	ITU-R 勧告 SM.1896-1 の改定草案に向けた作業文書 WG1B-1
133	Elements for a working document towards a preliminary draft NEW Report ITU-R SM.[WPT-REGULATION] - [Regulatory considerations of Wireless Power Transmission (WPT)]	新報告草案 ITU-R SM.[WPT-REGULATION] に向けた作業文書のエレメント WG1B-1
134	Reply liaison statement to Working Party 1A - Elements for a working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SM.[WPT-UNWANTED]	新勧告草案 ITU-R SM.[WPT-UNWANTED] に向けた作業文書のエレメントに関する WP1A へのリエゾン返書 WG1B-1
135	Reply liaison statement to Working Party 5B - Aeronautical radionavigation service information for Wireless Power Transmission (WPT)	WPT に関連した、航空無線航法業務関連情報に対する WP 5B へのリエゾン返答 WG1B-1

文書 番号	表題		備考 (提出元)
136	Draft liaison statement to Working Party 3L (Copy for information to Working Parties 1A, 1C, 5A, 5B, 6A and 7A) - Building entry losses in the frequency range 9 kHz to 10 MHz (far field and near field)	9 kHz ~10 MHz 帯における、干渉建物侵入損失（遠距離場/近接場）について伝えるリエゾン文書案	WG1B-1
137	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[WPT_EV_IMPACT] -Assessment of impact of wireless power transmission for electric vehicle charging (WPT-EV) on radiocommunication services	新報告草案 ITU-R SM.[EV_IMPACT]に向けた作業文書	WG1B-1